

【英国】

11-12月の市場動向トピックス

- 2019年11月の訪日英国人数は、前年同月比37.5%増の37,700人で、11月として過去最高を記録。
- 2019年12月の訪日英国人数、前年同月比21.0%増の27,700人で、12月として過去最高を記録。
- EU離脱後の経済に対する不安感はあるものの、継続的に展開してきた訪日旅行プロモーションの効果に加え、ラグビーワールドカップを契機とした訪日需要の高まりやロンドン-関西線の就航、ロンドン-ヘルシンキ線増便と大型化、ならびにヘルシンキ-札幌線の新規就航等による航空座席供給量の増加もあり、訪日者数の前年同月比は好調な伸びを記録した。

11-12月の主なプロモーション活動

- 11月5日～7日にかけてロンドンでWorld Travel Market(WTM)が開催され、過去最多の共同出展者33団体と共にVJブースを出展した。今年は場所の良さから人通りが例年以上に多く、カウンターでの問い合わせ等も多くなり、各テーブルでは活発に商談が行われた。また、同じタイミングで大使館と連携したネットワーキングイベント「Visit Japan Night」も開催し、「日本の冬の魅力」をテーマとし、現地の旅行会社やメディア等100名以上のゲストが集まり大いに盛り上がった。
- OTA及び航空会社との共同広告を実施し、英国からの訪日旅行促進を図った。10月18日から12月12日にはExperiaとの共同広告を実施し、同サイト内に日本特設ページを作成し訪日旅行を広告宣伝。12月20日からはANA含むスターアライアンスとデジタルメディアを中心とした共同広告を実施中で、Enjoy my Japan動画をコンテンツに使用した広告宣伝を1月31日まで実施していく。
- 近年増加している英国からのクルーズ訪日客の開拓を目的に、12月9日から14日までクルーズ会社及びクルーズを取り扱う旅行会社の商品企画・販売員11名を対象にした招請を実施した。初訪日の方が多く、東京・横浜・大阪・神戸などの寄港地及び周辺のエクスカージョンを視察いただき、港から観光地までのアクセスや近郊でのアクティビティを体験いただいた。



WTM会場の日本ブース



「Visit Japan Night」イベントの様子



クルーズ会社招請・嵐山での人力車体験



クルーズ会社招請・横浜新港視察様子